

# 安否確認サービスに 事故対応補償をプラス

DATA (一社) 家財整理相談窓口

所在地 東京都新宿区  
代表理事 神野敏幸  
加盟企業数 26社 (2016年4月現在)

(一社) 家財整理相談窓口 (東京都新宿区)

全国の遺品整理業者から構成される(一社)家財整理相談窓口(東京都新宿区)は、高齢者などを対象とした安否確認と原状回復・事故対応費用補償をセットにしたサービス「見まもっTELプラス」を販売している。

自動電話で利用者の安否確認を行い、孤立死などの場合、原状回復・事故対応費用として最大50万円まで補償。賃貸住宅に高齢者が入居する際のリスク軽減を図ることで、不動産会社などをサポートする。

## 高齢者の入居リスクを軽減

「見まもっTEL」は、週2回、利用者が指定した時間帯に自動音声ガイダンスの電話を入れ、健康状態を確認するサービスだ(提供はホームネット(株))。

利用者はガイダンスの指示に従って、電話機のボタンをプッシュ。元気な場合は①を、具合が悪い場合は③を押すだけで、結果を知らせるメールが家族などの指定連絡先(最大5人まで)に自動送信される。対応がない場合は時間をおいてかけ直す。

この内容に、居室内での不慮の事

故による原状回復・事故対応の費用補償を加えたのが「見まもっTELプラス」だ。利用料金は月額1500円(税別)。

不慮の事故(孤立死、自殺、事件など)により利用者が居室内において死亡した場合、原状回復費用(修繕・清掃・異臭除去・消毒など)と事故対応費用(遺品整理など)を最大50万円まで補償する。これらの作業を家財整理相談窓口が担当。

孤立死が考えられる高齢者などの入居は、不動産会社にとってリスクが高い。その点、同サービスでは不慮の事故が発生しても早期発見ができるため、物件へのダメージが少なく、貸主の費用負担などを最小限にできるという。

現在、首都圏の不動産店50~60店舗と提携。提携先では、高齢者などとの賃貸契約内容に同サービスへの加入を盛り込んでいる。

## 目標会員数は50社

同団体は家財整理業界(遺品整理、特殊清掃、生前整理、空家整理など)の発展を目的に昨年発足。4月現在、全国26社(沖縄、中四国を除く)が加盟している。サービスの品質、コンプライアンスなど、厳しい条件にクリアした業者のみ加入できるシステムで、各地の自治体や福祉団体、不動産会社などと連携を深めながら、同業界の発展に取り組んでいる。

**見まもっTEL プラス** 安否確認 原状回復・事故対応 費用補償

安否確認の電話を自動音声でおかけし、確認した健康状態をメールでご家族等に報告するサービスです。ご希望の曜日・時間帯(指定時間帯内)にお電話します。

- 1.確認(毎日)、音声ガイダンスの電話が入ります。  
※1.お留守の電話機(固定・携帯)共に有線化が必要です。  
※2.ご希望の曜日・時間帯をご指定いただけます。
- 2.ガイダンスに合わせてボタンを押します。  
①元気です ②具合が悪いです  
③応答なし ④お留守し期間です  
※緊急への対応がない場合は通報して医療機関へ送ります。  
※緊急の対応が受けられない場合は、緊急連絡先へ通報いたしますが、お留守のボタンを押された場合は、その旨をメールが届きます。
- 3.ご指定連絡先に結果メールが届きます。

原状回復費用(修繕・清掃・異臭除去・消毒等)  
事故対応費用(遺品整理費用、遺失・盗難のための通信費等)

主なお支払い対象 **補償限度額 50万円**まで

利用料 **月額1,500円+消費税** (税込1,650円)

ご利用料金  
無料でご家族・遺品整理にかかる費用の軽減(見積)を取ります。

家財整理相談窓口 (一社) 家財整理相談窓口

## 見まもっTELプラスのチラシ

「遺品整理を依頼しようにも、どこに頼んでよいのか分からないという人がまだ多いと思う。そういった方々にも安心してご依頼いただける家財整理団体を目指して邁進したい」(家財整理相談窓口 月川慶一氏 W)

(本誌・高倉)